



加藤 克之 議員
政新会

問 通学路の安全対策強化を

答 地域・家庭・関係機関と連携



▲対策を行った徐行看板（前ヶ須町）

問 ブロック塀等撤去費補助金交付事業の内容は。

答（都市整備課長） 10万円を限度で補助。平成30年の補助制度の制定から35件の実績。

問 通学路危険個所の調査結果は。

答（学校教育課長） 令和3年度、一斉点検を実施し、85か所を確認。

問 特に危険な個所は何か所か。

答 直ちに重大事故につながる所はない。

問 どのように安全対策を進めるか。

答 道路管理者・警察・学校と協議し対策する。

問 これまで何か所安全対策をしたか。

答 59か所。

問 どのような取り組みをしたか。

答 横断旗・徐行看板の設置、カラー舗装の修繕。

問 市長総括を。

答（市長） 大阪北部地震後、ブロック塀の撤去費補助を創設。

通学路の安全確保については、地域の青パト、スクールガード、家庭と連携し取り組む。

問 令和3年度の結婚新生活支援補助金の状況と成果は。

答（市民生活部長） 25件に交付、経済的負担の軽減で支援。

問 令和2年4月から令和4年2月までの出産臨時特別給付金は。

答（児童課長） 令和2年度から一人5万円を596人に給付。

問	ネーミングライツ事業は
答	財源確保のため必要な施策

ネーミングライツパートナー事業について以下を問う。

問 募集方法は。

答（総務部長） 市ホームページで4月から募集。

問 年間契約金額は。

答 年間33万円以上。

問 契約年数は。

答 3～5年間。

問 対象施設は。

答 十四山スポーツセンター。

問 その施設での年間利用者数は。

答 令和元年度、7万3千人。

問 今後、どの施設を対象と考えているか。

答 総合社会教育センターと総合福祉センターなどが候補。



▲ネーミングライツ募集中の十四山スポーツセンター